

わたしたちの地域シリーズ 第10回

地域のつながりを広げ、ひとりぼっちにならないまちづくり 『手稲っていいね』

手稲区のワーカーズは1994年に3団体が合同で設立総会を開催しました。生活クラブ組合員活動とまちづくり活動を広げていく拠点として『地区館るくす』のオープンと同時に、地域福祉を担う3つの視点で「食」「たすけあい」「子育て」の事業を開始、28年間継続しています。ここでは地域との連携とそれぞれの事業の展開を取り上げます。

たすけあいワーカーズ こころ

代表：新見 百合子 設立：1994年5月

設立の目的や想い

「人は誰もが歳をとります。いつかは一人暮らしになったり、体が不自由になったりします。このような高齢者社会では、家族だけの介護では難しくなってきます。また、核家族化が進むなか、年齢を問わず、病気で家事ができない、産前・産後のお世話をしてくれる人がいないなど、そんな身近な問題を解決し、安心して住み慣れた家や街で暮らし続けることができるように、地域のなかで“たすけあい”ができるシステムづくりをめざしていきます」（設立趣意書より）



現在の事業

- たすけあい事業（自主サービス） ■ 介護保険事業
- 札幌市訪問型独自サービス事業
- 障がい福祉サービス事業 ■ 札幌市移動支援事業



実践している地域とのつながり

- まちづくり事業として、2011年より「地域のお茶の間 来楽（らいらく）」その後事務所を移転して、2014年よりサロン「ちゃきちゃき亭」を2017年まで開いていました。現在休止中ですが、復活できるように模索しています
- 手稲区生活支援推進連絡会に出席し、情報交換をして地域福祉に取り組んでいます

近年、新規加入メンバーの割合が増えましたが、今も設立当時と変わらない気持ちでサービスを実践しています。地域福祉の充実には人材の確保がカギです！興味のある方はどんどんお問い合わせください。資格は問いません。

＼HP見てね！／



ワーカーズ・コレクティブ レラ

代表：藤原 由紀子 設立：1994年5月

設立の目的や想い

「いったん職場を離れ家庭に入った女性が再就職しようとしても、自分の主体性を発揮して生きがいのある仕事に就くのは大変難しい現状です。満足できる雇用の機会が訪れるのを待つのではなく、自分たちで働く場を作り、自主管理する労働を作り出そうとする人々が集まりました。そこで、何ができるのかを考えた結果、得意な分野を生かし、仕出しワーカーズをつくることにしました」（設立趣意書より）



現在の事業

- 宅配弁当、仕出しやオードブル
- 札幌市の高齢者配食サービス事業の受託
- 病院へ透析食の提供
- デイサービスの総菜の提供
- 放課後等児童デイの弁当の提供
- 生活クラブ葬儀事業の食事提供



食育活動を兼ねて、妊婦や1歳未満のお子様がいる世帯へ弁当価格の引きをしています。

実践している地域とのつながり

- 「プーのいえ」の親子遊びの会などの参加者へ惣菜販売
- 「たすけあいワーカーズこころ」がレラの宅配弁当を利用者に紹介
- 社会福祉協議会のHP「ていね知ったク情報」にも掲載されています

＼HP見てね！／



手稲地域連絡会

生活クラス手稲支部、手稲のワーカーズ、市民ネット手稲の三者で住みよいまちづくりをめざし、情報交換や協同での学習会や企画を行っています。

2020年度は「人と自転車が安心して通行できる道路環境について」を調査し、大学周辺の自転車走行について聞き取りを行いました。

小学校スクールゾーン内の自動車道路の制限速度を50キロから40キロに変更する要望も提出しました。

2021年度と2022年度は継続して「誰もが安心して利用できる公園づくり」をテーマに、公園の整備や利用状況の調査を行っています。遊具等の破損や子どもの飛び出し注意喚起の看板設置など手稲区長あてに意見を届けています。

子育て支援ワーカーズ プーのいえ

代表：渡邊 みちよ 設立：1994年5月

設立の目的や想い

「私たちの暮らす地域社会では人との関わりが少なくなり、子育ての不安感や孤独感を持つ親が増えてきています。家庭や地域の中で傳承されてきた子育ての知恵などが親に伝わり難く、子育て力の低下を感じることから、私たちは地域の中で子どもも親も元気に育ちあうために子育てしやすい社会を目的とし、保育事業や子育て環境・ネットワークづくりなどの子育て支援を行います」（設立趣意書より）



現在の事業

- 個人保育・集団保育
- 親子ひろば・親子に向けた遊びを提供するイベント
- 子育てサークルなどに出向き、遊びの提供。地域の児童会館のサロンで読み聞かせボランティアと絵本の貸し出し

実践している地域とのつながり

- 地域の医療法人との連携で自立支援協議会子ども部会へ参加し、情報交換や研修会を行っています
- 北海道科学大学の学生の実習先としても連携しています

＼HP見てね！／



親子ひろばの様子

28年前、子育ての不安感や孤独感をかかえている親子を支えたいという思いで生まれた『プーのいえ』ですが、コロナ禍の現在、今までの活動が思うようにできません。しかし、このような情勢のなかでも子どもは生まれ、親となる人はたくさんいます。私たちも収束を待つだけでなく、さらに子育てしにくくなった今、親子の声に耳を傾け本当に求められている支援は何なのかを考え、活動していきたいと思っています。